

地球について



うんこになって 考える



伊沢正名氏

2018年11月10日(土)



講演会 参加費500円
※ 未就学児無料

時間 13:30~15:30 開場13:00
場所 木更津社会館保育園 ホール
定員 50名 (当日先着順 予約も可)

「僕が見ていたのは上辺でしかなかった、
見るべきはうんこだった。」

伊沢さんの活動、考えを知った時に思った事です。

環境問題に興味を持ち、
お店もオーガニックパン屋として有機の材料のみを使用したり
私生活でもエネルギーをなるべく使わないようにしていました。

そんなある日、伊沢さんの糞土思想を知り
1つの生命としての責任も果たしていない自分に気付きました。

うんこって凄いです。超面白い話が聞けます。

是非ご参加ください。

ひとつとわ 嶋野貴文

○予約 問い合わせ 「ひとつとわ」

tel 0438-55-6107

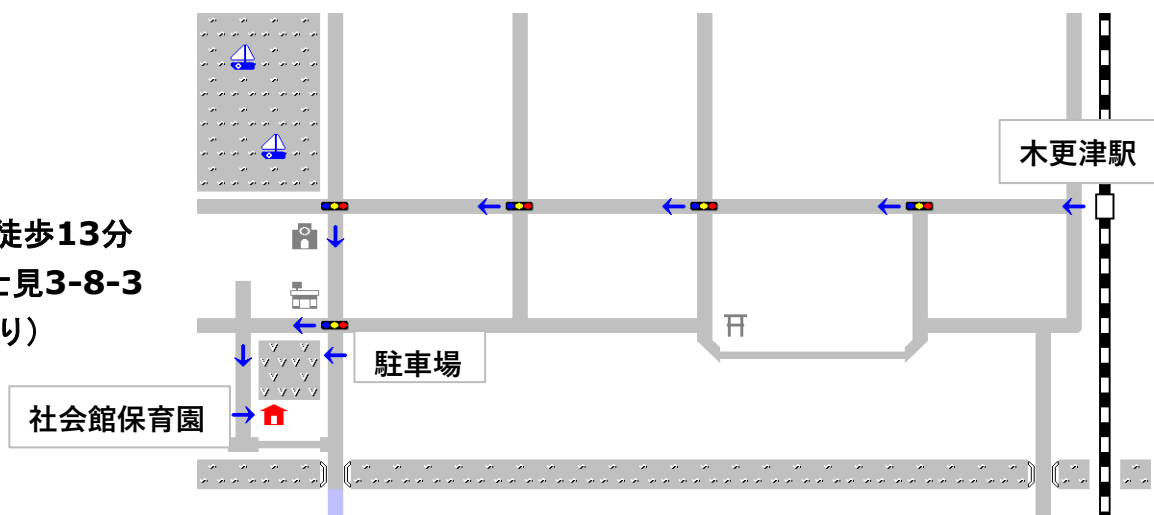
E-Mail brotkultur.hitotowa@gmail.com

主催：ドイツパンの店「ひとつとわ」

後援：木更津社会館保育園、糞土研究会

○アクセス

木更津駅西口より 徒歩13分
千葉県木更津市富士見3-8-3
駐車場有(保育園隣り)



講師 プロフィール
糞土師 伊沢正名

- 1950年 茨城県生まれ。
人間不信に陥り、高校中退。仙人を夢見て、貧乏旅行で各地の山を巡る。
- 1970年 自然保護運動を始める
- 73年 物が腐って土に還ることで新たな命が生まれることを、キノコを通して知る。
また、屎尿処理場反対運動をきっかけに、ウンコの問題を考え始める。
- 74年 1月1日 信念を持ってノグソを始める。
- 75年 菌類と隠花植物(キノコ、コケ、変形菌等)を専門に、写真家を目指す。
- 88年 14冊目の本の出版を機に、プロ写真家宣言。
- 90年 葉っぱで拭き水で清める「伊沢流インド式野糞法(正しいノグソのしかた)」を確立。
- 99年 年間ノグソ率100%を達成
- 2003年 千日行成就
- 2006年 写真家を辞め、糞土師を名乗り、糞土研究会を設立。
- 2007年~2009年 野糞跡掘り返し調査を敢行し、ウンコの分解過程と新たな命の誕生を解明。
- 2013年7月16にち 13年と45日(4793日)続いた連続野糞記録が途絶える。
- 2015年 舌癌で死を覚悟し、糞土思想が深まる。
- 2017年4月13にち 累計ノグソ数は13,760回

主な著書・共著書

- 1977. 『キノコの世界』 あかね書房
- 1988. 『日本のきのこ』 山と溪谷社
- 1995. 『日本変形菌類図鑑』 平凡社
- 2001. 『日本の野生植物 コケ』 平凡社
- 2006. 『きのこ博士入門』 全国農村教育協会
- 2010. 『カビ図鑑』 全国農村教育協会

受賞歴

松下正治記念賞

メディア出演

「タモリ倶楽部」
「月曜から夜ふかし」
など

- 2008. 『くう・ねる・のぐそ』 山と溪谷社 → 2014年に文庫化
- 2013. 『うんこはごちそう』 農山漁村文化協会
- 2017. 『葉っぱのぐそをはじめよう』 山と溪谷社